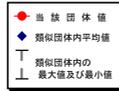


(5) 市町村性質別歳出決算分析表 (住民一人当たりのコスト)

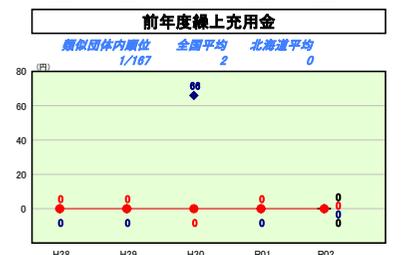
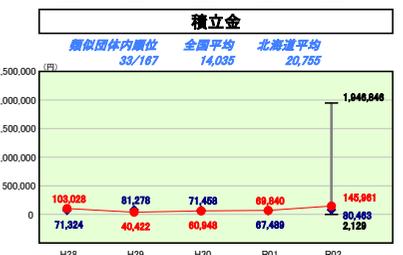
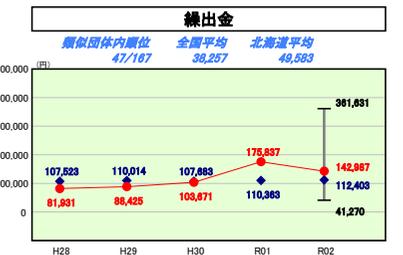
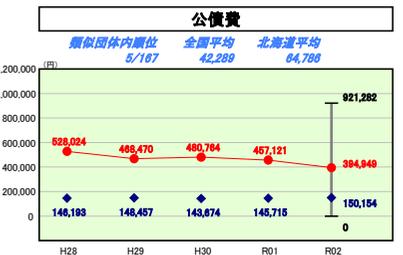
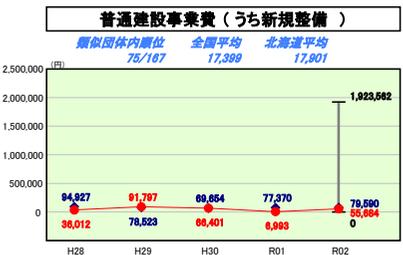
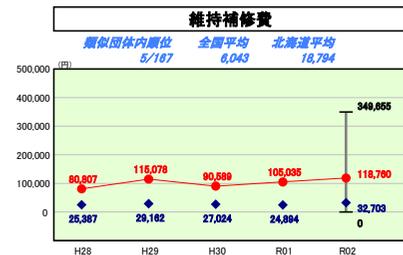
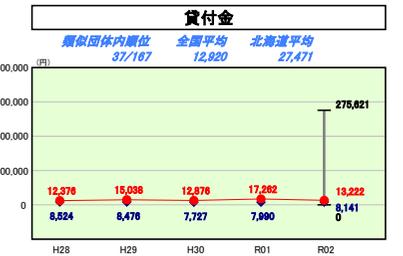
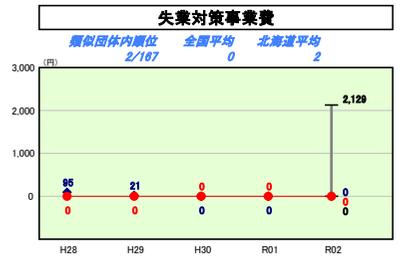
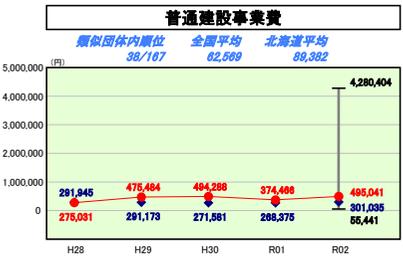
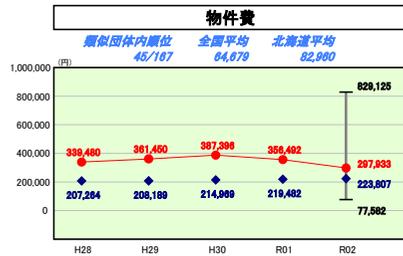
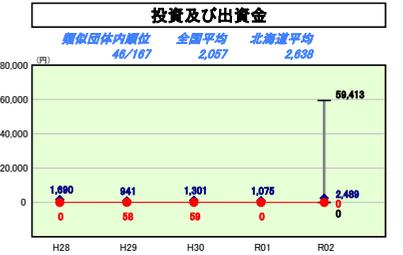
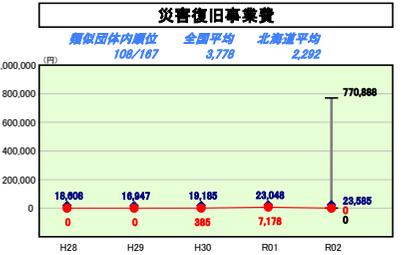
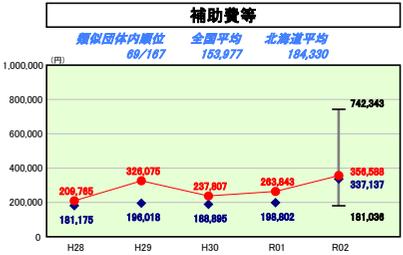
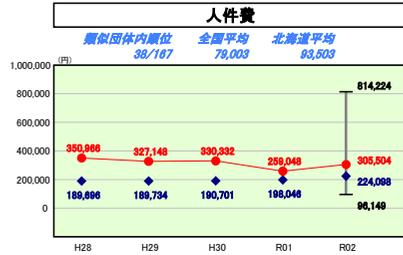
令和2年度

北海道概延町

人口	2,289人(03.1.1現在)	実収赤字比率	-	%		
うち日本人	2,243人(03.1.1現在)	通給実収赤字比率	-	%		
面積	574.10k㎡	実収公債費比率	7.8	%		
歳入総額	5,413,912千円	将来負担比率	-	%		
歳出総額	5,283,461千円	市町村類型	H28 I-O	H29 I-O	H30 I-O	H30 I-O
実収収支	141,248千円	(年度毎)	R01 I-O	R02 I-O		
標準財政規模	2,856,507千円					
地方債現在高	3,406,159千円					



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析
 普通建設事業費は、住民一人当たり495,041円となっており、類似団体と比較して一人当たりコストが高い状況となっている。これは、こぞら荘ボイラー設備改修支援事業やグループホーム建設等支援の実施によるものであり、前年度決算と比較すると32.2%増となっている。しかし、当該事業は令和2年度に完了しており、それほど懸念すべき状況ではないと思われる。